

学校施設の被害対策検討部会におけるこれまでの主な意見

＜学校施設の被害対策の基本的な考え方について＞

- 被害対策の考え方としては、ハザードの規模（浸水深）と頻度で整理することを基本としてはどうか。それに加えて、人口分布、避難所の指定状況等、地域の方々や要配慮者にとっての必要度によって対策の考え方が変わるのではないか。
- 学校の置かれた状況に応じてどのような対策を実施するか、また、域内の学校を全体的に眺めて、どういう順番で対策を実施するかという考え方についても整理をしてはどうか。
- 被害が予想される時は、あらかじめ避難する、学校に来させないという対策が基本となるが、過去の事例では、被害時に学校に児童生徒が取り残される場合もあった。このような状況でも、安全が確保されるようにするという観点も必要。
- 児童生徒だけでなく、教職員の安全確保も重要。特に特別支援学校には、障害のある教職員もいることに留意が必要。
- 避難所として使うか否か、学校施設の用途によって、対策の考え方が変わると考えられる。「機能」という観点からも考えた方がよい。
- 学校も流域の関係者の一人として、流域治水の取組に参加していくという視点を持ち、ひいては学校の安全につながるという意識を持つことが重要。
- 他の災害対策との整合性、バランスのとり必要がある。災害種により、対策に不整合を生じる場合があると考えられるため、被害対策の検討にあたり、留意が必要。
- 新築・統廃合の際における学校施設の立地の在り方についても整理してはどうか。

＜被害リスクの把握について＞

- ハザードの規模（浸水深）と頻度で整理していく際に、多段階でレベルを設定することが必要ではないか。
- 浸水想定区域図は空白地域も多く、今後、整備が期待されるものである。被害リスク情報の収集の際には、現在は、重ねるハザードマップの活用もできるが、それだけではなく、国土交通省の地方整備局等の河川管理担当者に相談することが重要である。

- 水害リスク情報の把握に当たっては、学校敷地だけでなく、周辺一帯の水害リスクも把握しながら、地域での位置づけを相対化する視点が必要。
- ハザードマップをみると浸水継続時間が記載されている。避難所として活用する期間については、これを活用することができるのではないか。
- 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）の学校については、特段の配慮が必要なのではないか。

<学校施設・設備面の対策の検討について>

- コストの観点から、対策と効果について考えることは重要。
- 施設の被害低減として、修理を容易にするという視点も重要。
- ハード面の対策に当たっては、目標とする性能水準を明確にしていくことが必要。
- 構造の観点からは、学校施設の用途別に、施設の水害対策について考える必要がある（例. 避難施設として活用される屋内運動場）。
- 学校施設・設備の浸水対策について、重要な書類のある部屋を上階に配置するといった配置計画上の工夫もあるのではないか。
- 住団連において浸水対策ガイドラインを作成しているが、住宅の浸水対策の学校への活用については、仕上げに関わることなど、参考になるところと、参考にならないところを踏まえる必要がある。

<指定緊急避難場所、指定避難所の観点について>

- 指定緊急避難場所、指定避難所については、災害対策基本法上の指定基準があり、避難所等となる学校施設の水害対策の検討に当たっては、これらも考慮する必要がある。
- 避難所の指定は、当該地域の中で、最も安全なエリアを指定するものであり、相対的に決まるものではないか。いつしか、危険な場所の学校が避難所に指定されることが見られるため、そういう場合は、避難所に指定しないで欲しいと伝えることも重要ではないか。
- 設備の水害対策は、避難所として活用する期間が、1日なのか、3日なのか、2週間なのかといった時間軸に応じて考えることが重要である。

<学校施設における水害被害状況等調査について>

- 被害状況について全体像を掴むことは重要である一方、特徴的な事例を選び、詳細に調べることも必要ではないか。例えば、被災後の復旧状況や教育活動の再開状況について、時間軸に沿って整理してはどうか。
- 小さな浸水深にも関わらず、大きな被害が起こった事例があれば、それについては理由や対策を考える必要がある。浸水深と被害の程度の軸で整理してみてもどうか。
- 可能であれば、河川氾濫等が発生した際の水位の上昇の経過や水が引くのにどれくらいの時間がかかったのかを時系列で整理してはどうか。
- 電気、水といったライフラインの被害状況についても確認してはどうか。

<現地調査について>

- 幼児の避難が難しいという話も聞くため、避難所に指定されている幼稚園についても候補に含めてほしい。
- 既存施設の水害対策が主な課題となると考えられるため、改修事例を調査してはどうか。